

# PosiTector<sup>®</sup> **DPM**

## *Dew Point Meter*

**i** On-Gage Help Reference

| 計器上ヘルプのリファレンス |



**DeFelsko<sup>®</sup>**  
The Measure of Quality

# 情報

このリファレンスは、PosiTector で利用可能な計器上のヘルプをまとめたものです。計器上でこれらのヘルプ項目を表示するには、計器のメニューに入り、アイコンをタッチ **i** するか、希望するメニュー項目が選択されたボタンを押 **+** 下します。

計器の使用と操作の概要については、付属の取扱説明書を参照するか、[www.defelsko.com/manuals](http://www.defelsko.com/manuals) で PDF をダウンロードしてください。

PosiTectorがこれらの最新のヘルプリファレンスを含むように、計器を更新してください。取扱説明書は、[www.defelsko.com/updates](http://www.defelsko.com/updates) で入手できます。



## メモリ

ポジテクタDPM標準型は、測定値の記録用に内部メモリを有しています。  
保存された測定値は、画面上での閲覧あるいはPCへダウンロードすることができます。  
測定値には、日付及び時刻が貼付されています。  
1バッチ中に2,500件（プローブ当たり）までの読取値を格納できます。  
データセットは、(+)ボタンを使用して、  
手動での保存あるいは自動ログモードを使用して、自動で保存することができます。

計器に測定値を格納すると、メモリアイコンが表示されます。

### 注記:

(-)を押下することにより、最終読取値を削除します。

## 閲覧

上下ボタンを使用して、現在、開かれているバッチの情報、統計の要約及び読取値の一覧をスクロールします。終了するには中央のナビゲーションボタンを押下して下さい。

## 切

メモリーを切りにして、記録を停止します（保存された測定値はメモリ内に維持）。

## 入り

メモリーを入りにして、測定値の記録を開始します。

## クリア

全ての保存された測定値がメモリから削除されます。

## 自動ログ

ポジテクタDPM露点計は、ユーザが選択した時間間隔でメモリ内に自動的にデータセットを記録します。自動ログを選ぶと、自動ログアイコンが表示されます。

自動ログは、計器の電池が無くなる、あるいは、自動ログモードをオフにするまで、記録を続けます。保存されたデータセットは、メモリーが満杯になるまで、残存します。次に、最も古いデータセットあるいはバッチは、上書きされ、次のデータセット用のスペース確保されます。

自動記録モードでは、測定間隔の間、画面が消えます。計器は、測定間隔に依りますが、新しいアルカリ電池のセットで**50～60時間**データセットを保存します。

ポジテクタDPMは、現場、塗装工場あるいは、製造現場の作業環境のパラメータを監視するのに理想的です。、

### 注記：

**USB**電源に接続されていない場合、自動ログを実行する前に、新しい電池を装填することが推奨されています。長期間の使用に際して、添付の**USB-C**ケーブルを使用して、計器を**USB**接続してください。

## 警告

ポジテクタ DPM 露点計は、現在の気象条件が、設定した値を超えた場合、自動的に警告を発します。警告のチェックボックスが選択されていると、警告アイコンは、画面の上部に表示されます。ISO 8502-4 及び ASTM D3276 によると、鋼材表面は、一般的に、塗装時、露点を $3^{\circ}\text{C}$ を超えなければならない。警告モードは、メモリー及び自動ログモードと組み合わせて使用できます。

標準型モデルは、一つの警告です。選択すると、表面温度が、露点より、 $3^{\circ}\text{C}$ より低い場合、警告を発します。チェックボックスを選択することにより、有効となります。塗装条件に不適合な場合、計器は音響的に警告を発し、LCD画面を反転します。

## 校正初期化

ユーザー校正の調整値をすべてリセットし、  
接続されているプローブの工場校正を復元します。

## 条件設定

計器の構成オプションを設定します。

## 時計設定

全ての測定値には、メモリの格納時に日付及び時刻（24時間フォーマット）が貼付されます。それゆえ、このメニューオプションを使用して現在の日付及び時刻を維持することは重要です。上下ボタンを使用して、スクロールし、(-) 及び (+) で値を調整します。計器の日付及び時刻を計器情報及びメインメニューの上部で閲覧することができます。

## 初期化

工場設定に戻り、計器を既知の状態に戻ります。詳細は次のとおりです。

全てのバッチ、保存データセット、バッチ名、スクリーンキャプチャは消去されます。

メニューの設定は、次のとおりに戻ります。

メモリ = 切 (OFF)  
自動ログ = 切  
トレンドチャート = なし  
自動減光(Auto Dim) = 入 (ON)  
ディスプレイ = なし (None)  
Bluetooth 及びストリーム = 切 (OFF)  
WiFi 及び アクセスポイント = 切 (OFF)  
USB キーボード及びストリーム = 切 (OFF)  
Bluetooth BLE キーボード = 切  
風速計 = 入 (DPM-A のみ)

電源を切って、ハードリセットを実行します。電源切った後、数秒待って、初期化シンボルが表示されるまで、中央のナビゲーションボタン及び(+) ボタンを同時に押し続けると、ハードリセットが実行されます。この操作により、工場出荷状態に戻ります。メニューの初期化に加えて、下記の項目が復帰します。

**Bluetooth** ペ어링情報は、クリアされます。警告設定はデフォルト設定となります。メニュー設定は、次の状態となります。

単位 (温度) = 摂氏  
反転ロック = 切 (OFF)  
自動同期(Auto Sync.net) = 入 (ON)

警告 = 切  
警告音 = 切  
音量 = 中位  
言語 = 英語  
タッチスクリーン = 入 (ON)  
単位 (速度) = m/s  
バッテリー種別 = アルカリ電池  
バックライト = 標準  
Bluetooth スマート = 切 (OFF)  
USB ドライブ = 入 (ON)  
自動ログ間隔 = 5 分  
湿球 = 切

## 注記:

日付、時刻、WiFiは初期化に影響されません。

## 単位

温度及び風速の単位の切り替えを行います。

温度 (全モデル) : 摂氏(°C)または華氏(°F)

速度 (DPM Aのみ) : m/s, ft/s, km/h, mph, and kn.

## バッテリー種別

アルカリ電池、リチウム電池あるいはNIMH電池 (充電式電池) の中から、使用している電池を選択します。バッテリー状態のインジケータは、選択された電池に基づいて計算されます。計器に使用されている電池が誤っていても損傷は受けません。

## 音量

内蔵のスピーカの音量を調整します (切、低音量、中音量、高音量)。

## タッチスクリーン

タッチスクリーン機能を無効にすることができます。全ての計器機能も、ナビゲーションボタンで制御可能です。

## 風速計

(ポジテクタ DPM-A プローブのみ)

有効にすると、ポジテクタDPM-Aは、選択した測定単位で、風速(v)を表示します。

## 注記:

露点(Td)及び表面温度(Ts)は、風速計が有効となっている場合は表示されません。

## 放射率

(ポジテクタ DPM-IR プロブのみ)

ポジテクタDPM-IR赤外線温度センサーの放射率を設定します。

放射率は、赤外線エネルギーを発するための材料の能力に関係し、同じ温度で、理想的な黒色面と比較されます。放射率は、0から1まで変化し、各材料は、材料に対応した特定の放射率を有しています。ポジテクタDPM-IRは、ユーザでの調整可能な放射率オプションだけでなく、ある材料に対しての放射率設定値が内蔵されています。

殆どの有機面及び塗装面は、約**0.95**の放射率を有し、正確な赤外線温度の読取値に理想的な表面です。輝いたあるいは反射面は、赤外線温度計で測定するのが難しい。なぜなら、周囲の赤外線エネルギーに影響されるやすいためです。これを補正するためには、平滑な塗装あるいは絶縁テープで、このような面を覆ってください。塗装あるいはテープを表面の温度に順応させ、塗装面あるいはテープ上で、測定してください。

カスタムを選択して、手動にて放射率値を調整あるいは既知の温度に調整してください。放射率は、温度を調整したとき、自動的に計算されます。

もう一つの方法として、次のプリセットオプションの**1つ**を使用してください。

アルミニウム(粗い)=**0.07**

プラスチック=**0.94**

亜鉛(亜鉛メッキ)=**0.25**

スチール(酸化)=**0.95**

コンクリート=**0.54**

木材=**0.95**

塗料=**0.96**

## 注記:

表面処理によって、ブラストされたスチールのような金属は、幅広い範囲の放射率を有する可能性があります

。代表的なサンプル上で既知の温度(接触型温度計プロブによる測定)に調整することは、正確な放射率を得るのに役立ちます。

## バックライト

ディスプレイの明るさ（日中、通常、夜間）を選択します。  
自動減光が有効（デフォルトは有効）の場合、バッテリー消費を防ぐために、一定時間、何の操作も行われない後、若干、減光します。下ボタンを押下すると、ディスプレイを明るくします。

## 反転ロック

現在の方向にディスプレイをロックすることにより、自動反転を無効にします。

## 言語

選択された言語で、ディスプレイ表示及び印刷される文字を変換します。

## 機器情報

計器のモデル番号、本体のシリアル番号、プローブ種別及びプローブシリアル番号、**PosiSoft.net** の登録キー、読取値保存用の残メモリ容量、日付、時刻及びソフトウェアパッケージを表示することができます。

セキュリティ目的のため、**PosiSoft.net** に計器を追加するには、登録キーが必要です。

## 接続

計器に対する通信及び接続オプションを構成します。

## USB

添付のUSBケーブルを使用して、計器をPC/Macに接続します。  
汎用のウェブブラウザ/ファイルエクスプローラあるいはPosiSoft Desktop  
を使用して読取值及びグラフを閲覧及び印刷を実行します。

### 注記:

添付のUSBケーブルを接続すると、USBケーブルから電源が供給されます。  
バッテリーが使用されず、本体は、自動的に切れません。

## 同期

同期が選択されていると、PosiSoft.net (PosiSoft Desktop  
が動作しているPCへのUSB接続が必要)と格納されている測定データを即座に同期しま  
す  
。

もう一つの方法として、USB接続メニュー内から自動同期(Auto Sync.net )を選択し、  
自動的にPCと同期を取ります。接続中にメモリ追加された測定データは、  
USBケーブルが外され、再接続された時、もしくは同期(Sync.net Now)を選択すると、  
同期されます。

### 注記:

PosiSoft.net と測定データと同期をとるには、PosiSoft DesktopのUSB接続が必要です。

## USB ドライブ

USBドライブが有効の時、ポジテクタは、  
USBフラッシュドライブ及びデジタルカメラと同じように保存データを読み出す  
簡単なインターフェースのUSB大容量デバイスとして認識されます。USBドライブは、  
保存されたデータをPosiSoft Desktop に取り込むのに必要です  
。添付のUSBケーブルを使用してPCに接続すると、  
PosiTectorと呼ばれる仮想ドライブを操作することにより、  
どのPCからでもメモリ内測定データを閲覧することができます。

### 注記:

添付のUSBケーブルを接続すると、USBケーブルから電源が供給されます。  
バッテリーが使用されず、本体は、自動的に切れません。

## JSON ファイル

有効設定(デフォルト)の場合、PosiSoft USBドライブ内で、JSONファイルが利用できます

。データベース及びカスタムソフトウェアへのファイル解析が可能となります。

### 注記:

オプションを無効にすることにより、USBに最初、接続された時、PCがPosiTectorを認識する時間を減少させることができます。

## HTML レポート

有効(デフォルト)設定の場合、HTML

フォーマットのレポートをルートディレクトリ内のindex.htmlあるいは

START\_HERE.htmlを選択することにより、閲覧できます。オプションで、

各バッチフォルダ内のテキストファイル(.txt)へのアクセスが可能です。

保存測定データ及びグラフを汎用ウェブブラウザあるいはファイルエクスプローラを使用して閲覧あるいはコピーできます

。

### 注記:

オプションを無効にすることにより、USBに最初、接続された時、PCがPosiTectorを認識する時間を減少させることができます。

## 自動同期

有効の場合、PosiSoft Desktop が動作しているPCに接続した時に、

測定値は自動的にPosiSoft.net と同期します。接続中にメモリ追加された測定データは、

USBケーブルが外され、再接続された時、もしくは同期(Sync.net

Now)が選択された時に同期されます。

### 注記:

PosiSoft.net と測定データと同期をとるには、PosiSoft DesktopのUSB接続が必要です。

## 更新

計器のソフトウェア更新が必要かどうかを判断します。

計器のソフトウェア更新を実施するために、計器は、

ポジソフト・デスクトップ (PosiSoft Desktop)

が動作しているインターネット接続されている必要があります。

[www.defelsko.com/update](http://www.defelsko.com/update) 参照。

**警告:**

計器は更新後、ハードリセットされます。全ての測定データは、メモリから消去されます。

## ヘルプ

メニューオプションがハイライトされている際、計器のヘルプを示す

(i)アイコンが使用できます。(+) ボタン押下あるいはヘルプアイコンをタッチして、ヘルプを表示します。計器の更新を実行し、計器のヘルプ情報が最新になっているか確認して下さい。

全てのヘルプ項目を含むPDFが[www.defelsko.com/help](http://www.defelsko.com/help)で利用できます。

### メニュー操作

メニューを操作するために、計器の電源を入れ、次に中央のナビゲーションボタンを押下します。メニュー操作をするために、キーパッドあるいはタッチスクリーンを使用することができます。必要に応じて、条件設定&gt;タッチスクリーンメニューでタッチスクリーン機能を無効とすることができます。

該当項目をタッチあるいは上下ボタンを使用して希望のオプションをハイライトさせます

。次に中央のナビゲーションボタンを押下して決定して下さい。

1頁以上のメニューの場合、現在の頁番号がページメニュー名の下部に表示されます。最初のメニュー項目の頁が表示されている際、上ボタンを使用してページの移動あるいは最終の頁が表示されている際、下ボタンを使用して移動します。タッチスクリーンを使用している際、左あるいは右矢印を使用して、あるいは上下にスワイプして頁間を移動、して下さい。

(-) ボタン押下あるいは右側にスワイプして、前頁に戻って下さい。終了を選択して、メニューを閉じて下さい。

&gt;付メニューオプションは、メニューオプションに対してサブメニューがあることを示します。オプションを選択して、サブメニューを表示します。

### スクリーンキャプチャ

(-) 及び (+) ボタンを同時に押下すると現在の表示画面を保存できます。

100件のスクリーンキャプチャがメモリに保存され、PCに接続された時、PosiSoft USBドライブ経由で、アクセスすることができます。

## 電源切断

電池寿命を保護するために、計器は5分間何も操作されない後、自動的にスリープ状態となり、スリープモードに入ります。スリープモードでは、計器はより速く、電源オンします。測定部材あるいは測定箇所を変更する際、便利です。4時間、計器の操作が行われない時、完全に電源オフとなります。ます。もう一つの方法として、メインメニューで、電源切を選択します。全ての設定は保存されています。

# DeFelsko®

## The Measure of Quality



[www.defelsko.com](http://www.defelsko.com)

© 2023 DeFelsko Corporation USA  
All Rights Reserved

限定保証、唯一の救済措置、限定責任

DeFelsko の唯一の保証、救済、および責任は、同社のウェブサイト [www.defelsko.com/terms](http://www.defelsko.com/terms) に記載されている明示的な限定保証、救済、および限定責任となります。

本マニュアルの著作権はすべて保護されており、DeFelsko Corporation の書面による許可なく、その全部または一部をいかなる方法によっても複製または転送することを禁じます。

DeFelsko、PosiSoft、および PosiTector は、米国およびその他の国で登録された DeFelsko Corporation の商標です。その他のブランド名または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

本マニュアルに記載された情報が正確であることを保証するために、あらゆる努力が払われています。DeFelsko は、印刷の誤りや誤字について責任を負うものではありません。